

平成24年度における各協力団体の食育への取組状況

1 青森県小学校長会

| 活 動 内 容 | |
|---|---|
| <p>これまでの取組を継続させるとともに、さらなる充実に努めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校における「食育の全体計画」の策定に努めている。 2 教科、特別活動、総合的な学習の時間などの授業や学校給食活動など、全教育活動全体をとおして、食育の推進に努めている。 3 栄養教諭、学校栄養職員等の専門家を招き、食に関する指導を行っている。 4 学校保健委員会を通じて、児童、教職員、保護者、地域の方々とともに、食についてともに考える機会を設けている。 5 社会科副読本「いのちはぐくむあおもりの農林水産業」等の教材を活用して、教科と食育の内容の充実に努めている。 | |
| 今後重点的に取り組みたい事項 | <ol style="list-style-type: none"> 1 食に関する指導の問題点を検証し、今後の指導体制確立に努めたい。 2 栄養教諭及び学校栄養職員の指導を中心とした、食に関する指導の充実に努めたい。 3 安全で安心な食品を見分ける力をつける取組を行いたい。 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | <p>各学校において、学校教育でなすべきことを果たすとともに、家庭との連携にも力を入れていきたい。</p> |

2 青森県中学校長会

| 活 動 内 容 | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 「家庭科」「保健体育」の授業で、学習のねらいを達成できるようにしている。 2 生徒会の保健委員会の活動を効果的に展開し、保健委員だけでなく、全校生徒に健康と食の関係を理解させている。 3 学校と家庭が連携し、家庭において日本の伝統的な食文化や郷土食のよさを再認識できるよう努めている。 4 学校給食等をとおして、食の大切さを学ばせている。 (学校給食センターからの「月ごとのメニュー」「給食だより」「お知らせ」の活用など) | |

3 青森県特別支援学校校長会

| 活動内容 | |
|--|--|
| 青森県特別支援学校校長会としての事業等は行っていないが、会員それぞれが各校の学校経営において食に関する指導を進めるよう努め、次のように、児童生徒の障害等に応じた食に関する取組を行っている。(各校の主な取組を集約) | |
| 授業における取組 研修会としての取組 | <ol style="list-style-type: none">1 児童生徒を対象とした栄養教諭による授業、栄養士や外部講師による講話等の実施<ul style="list-style-type: none">・栄養と食事のバランス・生活習慣病について・現場実習中のバランス良い食べ方、昼食選び2 保護者を対象とした講習会等の実施<ul style="list-style-type: none">・「食育のススメ ～元気で健康的な体づくりをめざして～」・「非常食 ～非常食をアレンジした献立～」 |
| イベント的取組 | <ol style="list-style-type: none">1 食品を選択する力や食事のマナー・社会性等の育成、給食や食事をする事への興味・関心の高まりや心身の健康等を期待して取り組む活動<ul style="list-style-type: none">・バイキング給食・リクエスト給食・青空給食2 地場産物への関心や食文化の伝承などに係る内容を期待して取り組む活動<ul style="list-style-type: none">・郷土料理教室・ふるさと産品給食・そば打ち体験 |
| その他の取組 | <ol style="list-style-type: none">1 学校菜園での野菜栽培と給食への活用、調理実習の実施2 掲示板の活用、「給食だより」「保健だより」「学級通信」等の発行、校内放送による献立等の発表(広く周知を図るための活動)3 学校給食献立コンクール等への参加、「給食がんばり賞」の取組4 寄宿舍と連携した取組<ul style="list-style-type: none">・舎食、外食経験等による食の知識等の向上 |

4 青森県学校保健会

| 活動内容 | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 健やか青森っ子プラン「健やか青森っ子生活習慣病防止対策」の実施2 「青森県学校保健・安全・給食研究大会」の開催<ul style="list-style-type: none">○期日:平成24年8月9日(木)～10日(金)○会場:八戸市公会堂 ほか3 学校保健関係団体が行う健康教育に対する支援 | |
| 取組の具体的手法や特徴的なこと | 県教育委員会、郡市学校保健会及び学校保健関係団体等と連携し、幼児、児童生徒の心身の健康の保持増進と健康課題を解決するため、健康教育としての食育を推進。 |
| 今後取り組みたい事項 | これまで同様、健康教育の中で総合的に取り組むとともに、学校保健関係団体が行う食育に関して積極的に支援する。 |

5 青森県PTA連合会

| | |
|------------------|--|
| 事業名 | 食育活動助成事業 |
| 期 日 | 平成24年6月～平成25年5月 |
| 連携団体 | 公益財団法人 青森県学校給食会 |
| 活動内容・参加者等 | (公財)青森県学校給食会から、PTAが行う食育活動に対し、経費の一部助成を受ける。 平成25年1月現在、75団体が総額約294万円の助成を受ける。 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | (財)青森県学校給食会との継続的連携による事業の推進。 |

6 公益財団法人 青森県学校給食会

| 活 動 内 容 | |
|------------------|---|
| | <ol style="list-style-type: none"> 1 学校給食に「生きた教材」として、本県で生産された農畜産物及び水産物を安定的に供給できるよう、県農林水産部、農協、漁協等の協力、支援をいただき、地場産品の商品の開発・加工に取り組んでいる。平成24年度は新たな取り組みとして県産の冷凍カット野菜「ほうれん草」、「小松菜」等を開発し、供給を行った。 2 学校給食用小麦粉パンについて、平成24年11月、主原料を県産小麦粉(ネバリゴシ)20%から県産小麦粉(ゆきちから)50%に切り替え、パンの供給を行った。平成25年度からは、県産小麦粉(ゆきちから)50%の小麦粉パンを年間を通して供給することとしている。 3 学校給食用米粉パンの小麦粉を県産小麦粉(ゆきちから)に切り替え、原料の小麦粉と米粉を県産品100%とした米粉パンの供給を行っている。 4 学校給食に関する食育活動の一環として、フードモデル(農水産物36種類)を指導教材として作成し、学校、食育関係団体等に貸出を行っている。 5 子どもたちが青森県で生産、漁獲される主要農水産物について理解を深めるようわかりやすく解説した青森県産農林水産物(地産地消)カレンダーを青森県農林水産部、青森県教育委員会の協力を得て作成し、青森県内学校給食実施校の全学級に配付した。 6 青森県PTA連合会と連携して、県内の郡市連合PTA及び単位PTA活動の「食育推進事業」に対して、経費の一部を予算の範囲内で助成する事業を行っている。 7 地場産品を活用した食に関する指導の充実を図るため、青森県学校給食献立コンクールを青森県教育委員会等と共催で実施し、食育推進の支援を行った。 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | <p>県PTA連合会、県学校給食センター連絡協議会及び県学校栄養士協議会との連携を図り、食育の普及啓発を効果的に行いたい。</p> <p>また、生産者団体等の協力を得て、地産地消の商品開発に努めたい。</p> |

7 青森県学校給食センター連絡協議会

| 活 動 内 容 | |
|---|------------------------------|
| 学校給食センターの運営を円滑に推進するために、食育及び地産地消に関する研修会等を開催し、食育事業に取り組んできた。 | |
| 取組の具体的手法や特徴的なこと | 学校給食関係団体と連携して、食育事業を支援していきたい。 |

8 青森県養護教員会

| 活 動 内 容 | |
|---|--|
| <p>1 会員各自が、勤務校において、地域・家庭・関係機関と連携をとりながら、食育に関する内容に取り組んでいる。</p> <p>【実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭や学校栄養教員と協力して学級における「食」に関する指導を実施 ○ 地域の食材を献立に取り入れ給食指導の場面で紹介 ○ 生産者の声を聴いたり生産活動を体験した児童・生徒の紹介 ○ 学校保健委員会で「食」について取り上げて健康な体づくりについて地域や家庭と考える場を設定 ○ 月1回のお弁当デーを設定し、児童生徒が自分で栄養バランスを考え作ってみることを提案など | |
| <p>2 県または各郡市において、研修会や情報交換の場で、児童生徒の健康課題の改善のために、「食育」を取り入れた実践を紹介し、資質向上を図っている。</p> <p>【実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歯の健康のためにおやつの内容に着目した指導を実施 ○ 「食育の日」を設けて栄養教諭と共に休息時間に各学級に出向いて「食」に関する指導を展開 ○ 参観日に栄養教諭を招き保護者に「食」に関する講話や情報交換を実施 ○ 高校生に対して食生活を含む生活習慣に関して振り返らせることでメタボリックシンドロームの予防を促す取り組み ○ 栄養教諭による「食の安全」や「食物アレルギーの予防」に関する研修会を実施など | |
| 取り組みの具体的な手法や特徴的なこと | <p>栄養教諭や学校栄養職員が配置されていない学校に勤務する場合が多く、校務分掌の中で、「食育」や「給食」に携わる場面が多い。</p> <p>そのため、自校の健康課題を見据え、多岐にわたる「食」に関する内容の中でも、今自分の学校の児童生徒には何が必要かを考えて、関係職員と計画を立案し、最優先課題を意識的に盛り込んでいける利点がある。</p> <p>今後も、「児童生徒へのヘルスプロモーション」を常に念頭に置きながら、自校の職員や家庭、関係機関と手を携えて、「食育」に取り組んでいきたい。</p> |

9 青森県学校栄養士協議会

| | |
|------------------|--|
| 事業名 ① | ふるさと産品給食の日 |
| 期 日 | 平成24年6月、11月 |
| 場 所 | 県内各学校給食施設、学校 |
| 活動内容・参加者等 | 学校給食に、県内や地元の食材を多く取り入れ、児童生徒に地産地消の啓発を図る。 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | (1)ふるさと産品を数多く使用した給食メニューを実施する。 (2)その日に使用したふるさと産品について給食だよりに掲載する。 (3)給食時間に教室の訪問し、ふるさと産品について説明する。 (4)給食時間の放送資料を提供する。 (5)学級担任にふるさと産品についての資料を提供する。 |
| 事業名 ② | 学校給食週間行事～家庭・地域との絆を深める学校給食～ |
| 期 日 | 平成25年1月24日(木)～30日(水) |
| 場 所 | 県内各学校給食施設・学校 |
| 活動内容・参加者等 | 学校給食習慣を機会に、地域の産物を活用した料理や郷土料理、地域の伝承料理を学校給食に組み入れたり、食の大切さを児童や保護者に啓発したりする。 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | (1)献立作成 ・地域の産物を生かした郷土料理 ・地域の伝承料理 (2)食の指導 ・郷土料理や地場産物を扱った授業等 (3)啓発活動 ・全校朝会や校内放送等での取り組み |
| 備 考 | 平成25年度も実施予定 |

10 NPO法人 青森県消費者協会

| 活 動 内 容 | |
|--|---|
| 1 食育活動の継続 (1)食の安全・安心推進事業 (2)地産地消推進事業・県産食材利用推進事業 (3)震災復興応援事業 | |
| 2 重点的な取組内容 | |
| 事業名 ① | 食の安全・安心推進事業（5回） |
| 期 日 | 平成24年4月～平成25年3月 |
| 場 所 | 青森市他 |
| 活動内容・参加者等 | 福島第一原発事故の影響による食の安全・安心について専門家を招いて講演会、学習会、セミナー等を開催 ■5月23日(水)「安全・安心 いま新たなステージへ～食品と放射能～」 講師:消費者庁長官 福島浩彦氏 会場:県民福祉プラザ県民ホール ■10月19日(金)「食品の安全を考える～暮らしに生かす食品の知識～」 講師:消費生活アナリスト 板倉ゆか子氏 会場:県民福祉プラザ県民ホール ■2月19日(火)「食の安全・安心～あなたの食卓が地球を救う～」 |

| | |
|-----------|--|
| | <p>講師： 奈良安規氏(前青森大学社会学部長)</p> <p>会場：県民福祉プラザ共用研修室</p> <p>■3月1日(金)「食卓の安全学～氾濫する情報を見極めるために」</p> <p>講師： 松永和紀氏(科学ライター・元毎日新聞記者)</p> <p>会場：青森国際ホテル5F芙蓉の間 他</p> |
| 事業名 ② | 地産地消推進事業・県産食材利用推進事業（12回） |
| 期 日 | 平成24年4月～平成25年3月 |
| 場 所 | 青森市、弘前市、むつ市、十和田市、三沢市、平川市他 |
| 活動内容・参加者等 | <p>県産品に親しみ、利用拡大するための講演会、料理講習会、セミナー等を実施。資源と生態系の保護に積極的に取り組んでいる水産エコラベル(マリンエコラベル)の付いた食材(アブラツノザメ、大和シジミ)を使った料理教室を開催</p> <p>■5月11日(金)「津軽食めぐりツアー」</p> <p>■6月27日(水)「県産食材応援ツアー」</p> <p>■8月21日(火)「県産旬野菜を使った料理教室」</p> <p>■10月10日(水)「環境にやさしい農業ツアー(津軽方面)」</p> <p>■10月23日(火)「第7回たべる・たいせつ食育フォーラム」の共催</p> <p>■10月25日(木)「環境にやさしい漁業ツアー」</p> <p>■10月31日(水)「環境にやさしい農業ツアー(県南方面)」</p> <p>■11月6日(火)「第48回青森県消費者大会」</p> <p>「食の安全・安心一次世代を守るために 共に考えよう」</p> <p>講師：ATV青森テレビアナウンサー 川口浩一氏</p> <p>会場：県民福祉プラザ県民ホール</p> <p>■11月29日(木)「環境にやさしい漁業～お魚料理教室～」</p> <p>■1月20日(日)「自然有機農法学習会&有機野菜を使った料理教室」</p> <p>■1月28日(月)「環境にやさしい漁業～お魚料理教室～」</p> <p>■3月13日(水)「環境にやさしい漁業ツアー」</p> |
| 事業名 ③ | 震災復興応援事業（3回） |
| 期 日 | 平成24年4月～平成25年3月 |
| 場 所 | 山形県他 |
| 活動内容・参加者等 | <p>県内消費者団体リーダー50名が山形県で開催された地方消費者グループ・フォーラムに参加し、福島県の現状と課題(主に食と放射能問題)について学ぶとともに東北の消費者団体と意見交換会を開催。</p> <p>■11月20日(火)・21日(水)「地方消費者グループ・フォーラム(於:山形県)」</p> |
| 事業名 ④ | 米粉消費拡大推進事業（6回） |
| 期 日 | 平成24年4月～平成25年3月 |
| 場 所 | 青森市、十和田市他 |
| 活動内容・参加者等 | <p>米粉料理教室、米粉推進フォーラムへの参加等。消費者に米粉を知ってもらうための事業を実施し、利用促進につなげた。米粉料理教室では、シチュー、パン、惣菜、お菓子等を作り、米粉と小麦粉の違い、特性等を学習。</p> <p>■11月3日(土)青森市総合福祉センター</p> <p>■11月4日(日)アピオあおもり</p> <p>■11月6日(火)県民福祉プラザ</p> |

| | |
|-----------|---|
| | <p>■11月25日(日)十和田市東公民館</p> <p>■11月26日(月)アピオあおもり</p> <p>「簡単にできる米粉お菓子教室」</p> <p>「米粉料理教室&米粉セミナー」</p> <p>講師:こっけん料理研究所 所長 萩田敏氏・料理研究家 千葉伸子氏 他</p> |
| 事業名 ⑤ | 子育て世代の食育推進事業(2回) |
| 期 日 | 平成24年4月～平成25年3月 |
| 場 所 | 五所川原市 |
| 活動内容・参加者等 | <p>子育て世代を対象に食品中の放射性物質についてきちんと理解するためのセミナーを開催。あわせて食を通じてほっとするひと時を提供する事業を併催。</p> <p>■10月1日(月)五所川原市</p> <p>■1月11日(金)五所川原市</p> <p>講師:管理栄養士 夏井昌子氏、中屋沙希子氏</p> |
| 事業名 ⑥ | 高齢期の食育推進事業(2回) |
| 期 日 | 平成24年4月～平成25年3月 |
| 場 所 | 青森市 |
| 活動内容・参加者等 | <p>■12月5日(水)「食べることを大切に！高齢になっても元気に、おいしく食べる事を楽しむために～」</p> <p>講師:弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 言語聴覚士 三浦順子氏</p> <p>■12月8日(土)「高齢者の食生活～誤嚥事故防止のために～」</p> <p>セミナー&料理講習会</p> <p>講師:弘前医療福祉大学短期大学 理事長 下田敦子氏</p> <p>弘前医療福祉大学短期大学 生活福祉学科 食育福祉専攻 准教授 石岡久美子氏 他</p> |
| 事業名 ⑦ | 消費者協会会員のための食育サポーター支援事業(4回) |
| 期 日 | 平成24年4月～平成25年3月 |
| 場 所 | 県民福祉プラザ他 |
| 活動内容・参加者等 | 食育サポーターに登録している当協会会員のスキルアップのための研修会を実施。 |

11 青森県食生活改善推進員連絡協議会

| 活 動 内 容 | |
|-----------|--|
| 1 | 男性料理講習会 男性を対象に、生活習慣病予防や食育をテーマに、調理実習、講話、健康相談を実施。 |
| 2 | 食育推進事業 地域住民、一般成人、中高校生を対象に、望ましい食習慣、知識、地産地消などを普及啓発。 |
| 3 | エコクッキング活動 食べ物を大切に作る心を育て、ごみの削減、水の節約等につながるエコクッキングを普及啓発。 |
| 4 | 8020推進事業 8020推進隊育成への協力及び関連事業への積極的な参加協力。 |
| 5 | 食事バランスガイド推進事業 食事バランスガイドの普及浸透を図るための調理実習、講話会、伝達講習を実施。 |
| 6 | スピードアップ減塩運動 県内で、講習会イベントなどの機会をとおして、減塩運動を推進。 |
| 7 | 高齢者の低栄養予防教室 高齢者が元気で地域活動に参加したり、自らの健康管理ができるように、低栄養予防の料理講習会及び講話などを開催。 |
| 事業名 ① | 食育推進事業（糖尿病予防教室） |
| 期 日 | 平成24年度中 |
| 場 所 | 各市町村 |
| 活動内容・参加者等 | 県委託事業でイベント・保育指導を実施。 生活習慣病の代表格の糖尿病予防教室を開催し、「糖尿病とは？」や「合併症」について学ぶことから、食生活を変えることや運動の必要性などを料理講習会や運動の実技を通して一般の人々に伝えた。 イベントを開催して、主に減塩料理や不足しがちな野菜の摂取についての講習会を開催し、アンケート調査を実施した。 |
| 事業名 ② | 生活習慣病ワースト25ステップアップ事業（高血圧・糖尿病） |
| 期 日 | 平成24年度中 |
| 場 所 | 各市町村 |
| 活動内容・参加者等 | 健診受診者や一般人の受講希望者40～70代の方を対象に、5時間の講習会を実施し、アンケート調査を実施した。 |
| 事業名 ③ | 体重1kgにつき塩分1g減塩運動 |
| 期 日 | 平成24年度中 |
| 場 所 | 各市町村 |
| 活動内容・参加者等 | 各家庭を訪問してパンフレットを差し上げながら減塩活動を進め、味噌汁の塩分測定を実施した。 |
| 事業名 ④ | よい食生活をすすめるためのグループ講習会（継続事業） |
| 期 日 | 平成24年度中 |
| 場 所 | 各市町村 |
| 活動内容・参加者等 | 県民一人ひとりが自分の食生活を見直し食生活の偏りや、脂肪、塩分の取りすぎ、カルシウム不足の改善のために、牛乳、乳製品を使用した講習会を開催した。 |

| | |
|------------------|--|
| | バランス食の大切さや、食事バランスガイドを活用した講話も実施した。 |
| 事業名 ⑤ | おやこの食育教室（継続事業） |
| 期 日 | 平成24年度中 |
| 場 所 | 各地域 |
| 活動内容・参加者等 | 朝食を食べない欠食児童をなくするため、また、「早寝・早起き・朝ごはん」をすすめながら食育の「5つの力」を身に付けさせるために、親子の料理教室を開催した。 食事のマナーや「家族そろって食事をする楽しさ」などについて話し合う時間も設けた。 |
| 事業名 ⑥ | 男性のための料理教室（継続事業） |
| 期 日 | 平成24年度中 |
| 場 所 | 各地域 |
| 活動内容・参加者等 | 食べ過ぎ、運動不足、ストレス、喫煙などによるメタボリック症候群の増加を減少させるために、バランス食の提供を実施した。 また、減塩食のすすめや禁煙、無理のない運動の仕方などの講話も行った。 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | これらの活動のほか、自主活動として、各市町村においてテーマを決めて講習会を実施している。 |
| 事業名 ⑦ | 災害時における炊き出しに関する体制整備事業 |
| 期 日 | 平成24年6月～平成25年3月 |
| 場 所 | 青森市 |
| 活動内容・参加者等 | 東日本大震災の経験を生かし、不自由な生活の中で健康維持のために役立つ簡単レシピ集の作成 |
| 事業名 ⑧ | 歯科保健全国大会での試食提供 |
| 期 日 | 平成24年10月27日 |
| 場 所 | リンクステーションホール青森 |
| 活動内容・参加者等 | 歯に良いおやつ(手づくり)を来場者に提供 |
| 事業名 ⑨ | 在宅高齢者に対する買物弱者と健康に関する食環境調査事業 |
| 期 日 | 平成24年11月～平成25年1月 |
| 場 所 | 県内市町村全域 |
| 活動内容・参加者等 | 在宅高齢者の食事及び生活状況調査実施。 在宅高齢者の買物難民防止対策のための調査実施。 |

12 青森県生活協同組合連合会

| 活 動 内 容 | |
|---|--|
| 1 食育活動の継続 (1) 産地交流、農作業体験、収穫体験等の取組 (2) 「親子でクッキング」「コープで離乳食」料理教室の開催 (3) 食の安全に関する出前講座の推進 2 重点的な取組内容 | |
| 事業名 ① | 「たべる・たいせつ食育フォーラム」の開催 |
| 期 日 | 平成24年10月23日 |
| 場 所 | 青森市文化会館(リンクステーションホール) |
| 活動内容・参加者等 | 「食を真ん中に出会いの場を広げましょう」をテーマに、講演、展示等を実施。(共催：青森県消費者協会、後援：青森県、東北農政局青森地域センター、青森県農業協同組合中央会、青森県漁業協同組合連合会、青森森林管理署、青森県木材協同組合) ◇講演1「医笑同源 一日一本のりんごジュースと大笑いで健康に！」 [講師]弘前大学農学生命科学部 農学博士 城田 安幸先生 ◇講演2「みんなで一緒に考えようTPP」 [講師]青森県農業協同組合中央会 営農農政部 成田 仁樹氏 ◇出会いと交流の場(試食・販売、ヒバ製品、県産品等の展示販売) |
| 事業名 ② | 「たべる・たいせつキッズクラブ」の実施 |
| 期 日 | 平成24年4月～平成25年2月末日 |
| 活動内容・参加者等 | (1) 自宅でできる食育サポートプログラム(子どもと生協の通信活動)であり、食に関する様々な情報、メニュー、レシピ、クイズなど盛りだくさんの内容の教材が年4回届く。 キッズ25名、サポーター8名 (2) キッズが家でしたことを「おたよりカード」に書いて生協に提出すると、サポーターから応援の返事が届く。 (3) 地引網体験9/15、ワカメの養殖体験12/8、収穫体験2月末日予定 |
| 事業名 ③ | 「生協ふれあいの森 植樹祭」の実施 |
| 期 日 | ①平成24年5月27日、②平成24年6月10日 |
| 場 所 | 県内2か所 (①青森市眺望山「自然休養林」、②十和田市仙人平「蔦の森」) |
| 活動内容・参加者等 | (1) 牛乳パック回収運動で得た収益金で、「ひば」「ぶな」の苗木を購入し、青森森林管理署と三八上北森林管理署から借り受けた国有林に植樹。 (2) 山や木材のこと、山と海の関係、食との関係などを学習し植樹。自然観察も実施。 |

13 青森県生活研究グループ連絡協議会

| 活 動 内 容 | |
|--|--|
| ・栄養専門学校生を対象にした、郷土料理伝承会を実施。(黒石地区) ・親子を対象とした食育交流会、小中学校の教職員を対象とした「社会体験研修」(主催：上北教育事務所)での調理実習の指導、中学生を対象とした串もちづくり体験等を実施(上北地区) | |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | 各地区段階の生活研究グループが、地元の栄養専門学校、子育て支援センター、教育事務所、中学校等と連携して実施している。 |

14 社団法人 青森県調理師会

| 活 動 内 容 | |
|---|---|
| <p>県民の健康増進を図るため、県内各地で多種多様な県産食材を使った健康料理講習会や調理師の資質の向上を図る調理技術研修会等を開催。</p> | |
| <p>1 調理師熟練者講習会の開催</p> <p>2 調理技術研修並びに「フグ処理実技」講習会の開催</p> <p>3 親子伝承料理講習会「県産食材を使って親子でクッキング」の開催</p> <p>4 各種団体等への講師派遣による講習会の実施</p> <p>5 「健康あおもり21」の推進</p> <p>(1)「外食栄養成分表示店」推進活動の実施</p> <p>(2)食の安全・安心推進活動の実施</p> <p>(3)減塩料理の普及推進活動の実施</p> <p>(4)食育の普及推進活動の実施</p> | |
| 事業名 ① | 郷土料理継承親子料理教室 |
| 期 日 | 平成24年7月23日 |
| 場 所 | アピオあおもり |
| 活動内容・参加者等 | 親子で協力して料理教室をすることにより、親子のふれあいを図るとともに、食品衛生や食材の扱い方や、食事のマナー等も指導している。 参加者23名(11組) |
| 事業名 ② | 調理師熟練者講習会 |
| 期 日 | 平成24年8月26日 |
| 場 所 | 青森国際ホテル |
| 活動内容・参加者等 | 調理師の調理技術と技能の向上を図ることにより、食生活の改善及び生活習慣病の予防並びに調理師の資質の向上に資するため、「調理技術技能検定」を受験する前の講習会として実施している。 参加者6名 |
| 事業名 ③ | フグ処理実技講習会 |
| 期 日 | 平成25年2月24日(予定) |
| 場 所 | 青森市中央市民センター |
| 活動内容・参加者等 | 青森県のフグ取扱い指導要項について学習するとともに、フグ処理の技術の向上を図るために実技指導を行っている。 参加者募集中 |

15 青森県料理飲食業生活衛生協同組合

| | |
|-----------|--|
| 事業名 ① | 青森県日本料理コンクール |
| 期 日 | 平成24年11月10日～11日 |
| 場 所 | 五所川原市 エルムの街ショッピングセンター2階 エルムホール |
| 活動内容・参加者等 | 本県産の優れた農水産物を活用しながら、創作料理の芸術性を競い、県産食材の良さや郷土料理の文化を広く県民に発信していく。 審査員が評価の上、賞を授与する。(来場者750名) |
| 備 考 | 平成25年も実施予定 |

16 青森県農業協同組合中央会

| | |
|------------------|---|
| 事業名 ① | 小学校5年生用社会科副読本「いのちはぐくむあおもりの農林水産業」の発行 |
| 期 日 | 平成24年4月1日発行 |
| 活動内容・参加者等 | 小学校5年生の社会科で学習する「わが国の産業と国土のようす」について、本県の例を参考に学習してもらうための副読本と、教師用の指導書を作成(児童用15,400部、教師用1,800部)。小学校5年生全員に配布。 |
| 事業名 ② | 「ごはんお米とわたし」作文・図画コンクール |
| 期 日 | 平成24年7～12月 |
| 活動内容・参加者等 | 毎日のごはんのおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食についての思い出や、考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してもらい、農業(特にお米やごはん食)を理解してもらうためにコンクールを実施。 ○対象: 県内全小・中学校 実施校97校 ○作文292点、図画205点 |
| 事業名 ③ | 「バケツ稲づくり」 |
| 期 日 | 平成24年4月～ |
| 活動内容・参加者等 | バケツを使って稲を育てるという一連の作業をとおして、お米やごはん、稲作文化、農業、食料の大切さを理解してもらうために、「バケツ稲づくりセット」①種籾(肥料付)、②栽培マニュアル、③観察ノートを無償配布。 ○対象: 全小学校(原則として5年生) 実施校68校 3,418セット |
| 事業名 ④ | 稲作体験教室 |
| 期 日 | 平成24年4月～平成25年2月 |
| 活動内容・参加者等 | お米やごはん、稲作文化、農業、食料の大切さを理解してもらうため、県内のJA、小・中学校と協力し、児童に稲作の栽培体験(収穫祭を含む)実施。 ○対象: 県内小学校実施校18校 1,195人 |
| 事業名 ⑤ | JAふるさと市 |
| 期 日 | 平成24年11月10～11日 |
| 活動内容・参加者等 | JAグループ青森、(社)青森県物産振興協会、あおもり産品販売促進協議会主催の、「ぜ～んぶあおもり大農林水産祭」に、JAグループ青森は「JAふるさと市」として出展し、消費者に対して県産農畜産物の安全性やおいしさをPRする試食販売会や、JA・協同組合の活動を理解してもらうためのPR活動を実施した。 ○場 所: 青森市「青森産業会館」 ○出店内容: りんご(生果)、りんごジュース、ながいも、にんにく、ごぼう、かぶ、長ねぎ、白菜、ゼネラルレクラーク、漬物、スイーツなどを販売 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | 1 子どもや主婦層を対象とした米消費拡大イベント 2 全農あおもりやさい作品コンクールの作品展示 3 県産農畜産物が当たるゲームの実施 |

17 青森県JA女性組織協議会

| | |
|-----------|--|
| 事業名 ① | 農業ふれあい教室 |
| 期 日 | 平成24年4～12月 |
| 活動内容・参加者等 | 地域の子どもたちに、農産物の栽培をとおして、作る楽しさと食べる喜びを感じてもらい、農業に対する理解と地産地消の啓もうを図るために、県内5JA女性部で管内小学校児童と一緒に植付けから収穫までの農業体験や、収穫した農産物を使った料理教室などを実施。 |
| 事業名 ② | 作文・かべ新聞コンクール |
| 期 日 | 平成24年12月 |
| 活動内容・参加者等 | 農業ふれあい教室で農作業を体験した児童に作文・かべ新聞を書いてもらい、優秀者等を表彰。 応募作品数 作文:4小学校から7作品、かべ新聞:3小学校から8作品 |
| 事業名 ③ | 各JA女性部による地域に根ざした食育活動の展開 |
| 活動内容・参加者等 | 各JA女性部においても、食育活動の一環として、地元小学校と連携し、学校給食の食材として地場産物を納入したり、農作業や調理など、各種体験学習の受入を実施。 |
| 事業名 ④ | JAふるさと市での県産農産物の試食会（おいしい食べ方紹介） |
| 期 日 | 平成24年11月10日～11日 |
| 活動内容・参加者等 | 県内の若手JA女性部員の中から認定された、「りんごやさいインストラクター」が、JAふるさと市に来場した消費者に対して、試食をとおして県産農産物のおいしい食べ方を紹介し、レシピの配付を行った。 |
| 事業名 ⑤ | JA女性部員による県産農産物のPR販売実習（東京） |
| 期 日 | 平成25年1月26日 |
| 活動内容・参加者等 | 県内の若手JA女性部員の中から認定された、「りんごやさいインストラクター」6人が、大消費地である東京で県産農産物のPR販売を行った。 ○場所:東京都品川区 戸越銀座商店街「JA全農あおもりアグリショップ東京店」 |

18 全国農業協同組合連合会青森県本部

活 動 内 容

「安全・安心」な県産農畜産物への理解者づくりと消費拡大を図るとともに、「地域社会への貢献」に資するため、以下の食育活動に取組みました。

1 紙芝居：やさい花き課

県内の小学校低学年の児童を対象にトリオ・ザ・ポンチョスのトークによる「青森いきいきやさい紙芝居」を実施。(平成24年度、6回実施)

◆実施状況

| 実施月日 | 市町村名 | 学校名 | 備 考 |
|--------|------|----------|-------|
| 9月14日 | 青森市 | 堤小学校 | 参観日実施 |
| 11月28日 | 十和田市 | 三本木小学校 | 参観日実施 |
| 12月 7日 | むつ市 | 第一田名部小学校 | 参観日実施 |
| 12月14日 | むつ市 | 川内小学校 | |
| 2月 5日 | 弘前市 | 豊田小学校 | |
| 2月14日 | 八戸市 | 三条小学校 | (予定) |

注)かつて一度園児を対象に実施したものの、園児には理解し難いため小学校低学年の児童を対象としている。



2 食育体験（餅つき体験・バター作り体験）：販売企画課

(1) 農協会館1Fロビーでの「即売会」・「歳末市」及びアスパムでの「やさいの日」JAフェアにおいて、JA青森の女性部の協力を得て、子供達を対象に実施。



(2) 相坂四連副会長の呼びかけを契機として、JA女性部平内支部が企画、平内町役場および本会が後援し園児を対象に実施。

◆実施状況

| 実施月日 | 催 事 | 実施場所 | 内 容 | 備 考 |
|-------------------|---------|---------------|--------------|-------------------------|
| 24. 6月23日 | 農畜産物即売会 | 農協会館1F | 餅つき | |
| 〃. 7月21日 | 〃 | 〃 | 餅つき | |
| 〃. 8月11日 | 〃 | 〃 | 餅つき | |
| 〃. 8月26日 | 「やさいの日」 | アスパム | 餅つき | |
| 〃. 9月 7日 | 農畜産物即売会 | 農協会館1F | 餅つき | |
| 〃. 9月29日 | 〃 | 〃 | バター作り | すぎの子幼稚園児87名 |
| 〃. 10月12日 | 〃 | 〃 | 餅つき | |
| 〃. 10月27日 | 〃 | 〃 | バター作り | すぎの子幼稚園児87名 |
| 〃. 12月 8日 | 〃 | 〃 | 餅つき | |
| 〃. 12月28日 | 歳 末 市 | 〃 | 餅つき | |
| 〃. 12月29日 | 〃 | 〃 | 餅つき | |
| 25. 2月20日 (予定) | 食育体験学習 | 平内町勤労 青少年H | 餅つき バター作り | 町内3園約40名 (1幼稚園、2保育園) |

3 料理教室：販売企画課

「やさいの日」JAフェア(平成24年8月26日開催、アスパム)においては、あおもり野菜ソムリエ協会とのコラボにより、上明戸華恵氏を講師に迎え主婦層を対象に実施。

4 その他

(1) やさい・やさい作りを題材に、「第20回青森県やさい作品コンクール」(図画、習字)を実施。(やさい花き課)

(2) 青森県学校給食会や青森市中央卸売市場などが主催する児童を対象とした図画コンクールへの協賛。(販売企画課)

以 上

19 青森県青果卸売市場協会

| | |
|-----------|---|
| 事業名 | 親子収穫体験教室 |
| 期 日 | 平成24年8月25日(土) |
| 場 所 | 青森市浪岡地区 |
| 活動内容・参加者等 | 当該事業に応募のあった小学生とその保護者計46名を対象に、青森市浪岡地区特産のとうもろこし(バサラコーン)について、収穫体験・試食、JAの選果作業及び卸売市場内の保管・販売の様子等の見学を実施し、生産現場から流通までの過程の理解促進と家庭における食事バランスガイドの普及・啓発に取り組んだ。 |

20 青森県水産物卸売市場協会

| | |
|--------------|---|
| 事業名 ① | 「青森市中央卸売市場食育推進委員会」としての取組～青森地区～ |
| 事業名 | 夏休み親子市場体験会 |
| 期 日 | 平成24年7月28日 |
| 場 所 | 青森市中央卸売市場 |
| 活動内容 参加者等 | 32名(子ども17名、保護者15名)が参加し、市場内施設やせり売りを見学したほか、魚の捌き方教室、すいか食べ比べなどを行った。 |
| 事業名 ② | 小中学校への食育・花育活動～青森地区～ |
| 期 日 | (実施) |
| 場 所 | 1 平成24年11月26日:青森市立戸山中学校(保護者27名) |
| 参 加 者 | 2 平成24年12月14日:青森市立合浦小学校 (児童24名+保護者4名+先生1名) |
| | (予定) |
| | 3 平成25年02月01日:青森市立油川小学校(児童40名+先生4名) |
| | 4 平成25年02月13日:青森市立油川小学校(児童40名+先生3名) |
| | 5 平成25年02月15日:青森市立油川小学校(児童40名+先生2名) |
| | 6 平成25年02月23日:青森市立新城中央小学校(未定) |
| 活動内容 | 1 戸山中学校:「フラワーアレンジメント教室」 (社)日本フラワーデザイナー協会青森県支部から講師を招いて、フラワーアレンジメント教室を実施 |
| | 2 青森市立合浦小学校:「学校訪問型料理教室」 (社)青森県栄養士会から講師を招き、①さけのムニエル②ポテトサラダ③ |

| | |
|----------------|---|
| | 味噌汁④フルーツヨーグルトを調理 |
| | 3 青森市立油川小学校:「学校訪問型料理教室」(1回目) 学校専属の主任栄養士が講師となり、①ホタテとタケノコのまぜご飯②サーモンの味噌汁③白身魚竜田揚げを調理 |
| | 4 青森市立油川小学校:「学校訪問型料理教室」(2回目) 学校専属の主任栄養士が講師となり、①ホタテとタケノコのまぜご飯②サーモンの味噌汁③白身魚竜田揚げを調理 |
| | 5 青森市立油川小学校:「学校訪問型料理教室」(3回目) 学校専属の主任栄養士が講師となり、①ホタテとタケノコのまぜご飯②サーモンの味噌汁③白身魚竜田揚げを調理 |
| | 6 青森市立新城中央小学校「学校訪問型料理教室」 学校専属の主任栄養士が講師となり、料理教室を開催(現時点でメニューは未定) |
| 事業名 ③ | おさかな食育クッキング～弘前地区～ |
| 期 日 | 1 第43回 平成24年7月21日:東北女子大学 |
| 場 所 | 大人28名、子ども8名 |
| 参 加 者 | 2 第44回 平成24年9月1日:東北女子大学 |
| | 大人28名、子ども6名 |
| | 3 第45回 平成24年11月24日:東北女子大学 |
| | 大人35名、子ども8名 |
| | 4 第46回 平成25年1月26日:東北女子大学 |
| | 大人30名 子ども7名 |
| 活 動 内 容 | 1 東北女子大学が講師となり、「焼きほやをトッピング!冷やしラーメン～焼きぼしとほたてのスープで～」 「あじバーグ」 「いかとほたてのマリネ」を調理。参加料:一人500円 |
| | 2 東北女子大学が講師となり、「フライパンでエビ三昧パエリア」 「鯖と鮭の塩麹カレーピカタ」 「フルーツジュースゼリー」を調理。参加料:一人500円 |
| | 3 東北女子大学が講師となり、「牡蠣のあんかけ焼きそば」 「かすべの中華スープ」 「はたはたのさっぱりマリネ」を調理。参加料:一人500円 |
| | 4 東北女子大学が講師となり、「ほっき貝入り小田巻き蒸し」 「生たらこと豆腐のお吸物」 「ひらめのソテー」, 「しじみのお吸い物」を調理。参加料:一人500円 |
| 事業名 ④ | 施設見学会「魚市場を見に行こう」 ～五所川原地区～ |
| 期 日 | 平成24年年9月29日 |
| 場 所 | 丸中五所川原中央水産株式会社(卸売市場・会議室) |
| 参 加 者 | 児童36名 |
| 活 動 内 容 | 水産会社社員の説明により、市場の魚介類の競り売りの様子や、マグロ解体等を見学し、流通の仕組みや地元で水揚げされる旬の水産物について学習をする。また、地域市場の現状を知ってもらう。 市場で販売されている旬の魚等の朝食をとりながら、食事のマナーについても勉強。 |

21 社団法人 青森県りんご対策協議会

| | |
|-----------|--|
| 事業名 | 若年層を対象とした消費宣伝対策事業 |
| 期 日 | 平成24年10月～平成25年3月（一部実施中） |
| 場 所 | 新潟県、北陸、京都府、滋賀県、兵庫県、四国4県、九州 |
| 活動内容・参加者等 | <p>・小学校学習用下敷8万枚、消しゴム4万個、定規4万枚を作製し、全国各地の青果会社を通じて小学校等に配布し、青森りんごの学習用として活用</p> <p>・近年果実離れが著しい若年層への青森りんごの普及及び消費拡大のため、全国各地の小学校、幼稚園、保育園へ、学習用、給食用として青森りんごを提供</p> <p>青森県農林水産部りんご果樹課が実施する小学校での出前授業にミスりんごが参加し、青森りんごの健康への効果等を説明。</p> |

22 青森県漁業協同組合連合会

| 活 動 内 容 | |
|---|---------------------------------|
| <p>1 青森県産の鮮魚介藻類の品質、衛生管理面の向上に努める。</p> <p>2 適正な産地表示にもこれまで以上に取り組み、消費者との信頼関係を構築する。</p> <p>3 青森ほたてのPRと、消費拡大を図るための宣伝活動を継続的に実施する。</p> <p>4 青森ほたての生産情報、料理等のDVDを製作し、各拠点での放映のほか、貸出等を行い、普及啓発を行っていく。</p> <p>5 ホームページでの「青森のお魚」「お魚クイズ・ことわざ・漢字」や「ネット販売」により、魚への知識向上と消費者への魚食普及を図る。</p> | |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | 漁協、関係団体と連携を密にし、本県水産物のさらなる普及を図る。 |

23 青森県漁協女性組織協議会

| 活 動 内 容 | |
|--|--|
| <p>各地の漁協女性部の活動を支援。</p> <p>1 部員を対象とした活動への支援</p> <p>(1) 地元で獲れる多種多様な魚の料理教室(郷土料理の伝承)</p> <p>(2) 子どもの成長を願う行事での料理教室(伝統料理の伝承)</p> <p>2 学校を対象とした活動への支援</p> <p>小学校、中学校、高等学校での料理教室(魚離れ対策、魚の料理法の普及)</p> <p>3 一般県民を対象とした活動への支援</p> <p>各イベントに出店参加して、加工品の販売、魚食普及PR</p> | |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | <p>地産地消、魚離れ対策、一次二次加工による付加価値をつける魚の料理法、伝統料理、郷土料理の伝承。</p> <p>今後は保健所とも連携したい。</p> |

24 八戸水産加工業協同組合連合会

| 活 動 内 容 | |
|---------|---|
| 1 | 「はちのへ水産加工品展示会」に、食育コーナーを設置(商品の陳列、パネル掲示など)。 |
| 2 | 組合傘下の企業に対し、食育推進に生かせる商品開発を奨励。 |

25 社団法人 青森県物産振興協会

| | |
|-----------|--|
| 事業名 ① | 「青森の食の魅力」を発信する青森特産展等の開催 |
| 期 日 | 平成24年4月～平成25年3月 |
| 場 所 | 県内外の量販店、百貨店、当協会直営催事スペース(新青森駅内) |
| 活動内容・参加者等 | 本県が誇る豊富な農林水産物を加工した県産品を、県内外の消費者に広く紹介するとともに、消費者サイドの商品評価を直接受け止め、「青森の食の魅力」を発揮した新たな商品づくりに役立てた。 |
| 事業名 ② | 県内産直施設や郷土料理・ご当地グルメ提供店「あおもり食のエリア」などの情報誌「食彩青森」の発行 |
| 期 日 | 平成24年9月 |
| 発行部数 | 45,000部 |
| 活動内容・参加者等 | 郷土料理、ご当地グルメを提供する「あおもり食のエリア」や県内産直施設を、県民局エリアごとに掲載したガイドブック「食彩青森」を作成し、県内の観光案内所や掲載施設等約100か所で配布した。 |

26 株式会社さくら野百貨店

| | |
|------------------|---|
| 事業名 ① | シニア野菜ソムリエの「野菜・果物食べくらべ教室」 |
| 期 日 | 各月各店(青森店、弘前店)にて各1回ずつ開催 |
| 場 所 | さくら野青森店、さくら野弘前店 |
| 活動内容・参加者等 | 各店舗の顧客を対象(20～40名)に、旬の野菜・果物の食べくらべや保存方法、調理方法を紹介し、野菜・果物の魅力を多くの方へ広げる活動を実施 |
| 事業名 ② | シニア野菜ソムリエの「野菜・果物食べくらべ教室」(外部への取組として) |
| 期 日 | 3月、7月 各1回 |
| 場 所 | 大和証券青森支店セミナー |
| 活動内容・参加者等 | 上記の顧客を対象(30名)に旬の野菜・果物の食べくらべや保存方法、調理方法を紹介し、野菜・果物の魅力を多くの方へ広げる活動を実施 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | 地方の産地・取引先等からの協力もいただき実施 |
| 備 考 | 平成25年度も実施予定 |

27 株式会社ユニバース

| 活 動 内 容 | |
|---|--|
| 1 食育料理教室の開催(最低4ヶ月に1回)(平成25年1月現在 3企画5回開催) 2 嶽きみ収穫体験開催 3 毎月「おいしい・ヘルシー簡単食育レシピパンフレット」(厳選6品掲載)を制作し、全店にて配付 4 チラシ上で、食育のPR(毎月19日前後)。 同じくチラシ上で、朝食・お弁当特集を実施(年2~3回程度)。 5 地産地消の取り組み:県産品フェアを実施。9月、11月の2回。30店舗で実施。 6 食品残渣の堆肥化による野菜(エコごぼう、エコ長芋)の販売(八戸市内8店舗) 7 東バイパス店に県知事をお迎えし、青森県産品のPRを実施(平成24年9月15日) 8 「あおり食育検定」9名合格。 | |
| 事業名 ① | 「料理教室」の開催 |
| 期 日 | 4ヶ月に1企画(平成25年1月31日現在、3企画5回開催) |
| 場 所 | 八戸市、青森市、弘前市、盛岡市 |
| 活動内容・参加者等 | 各メーカー様の商品を活用した料理教室を開催し、食育についての講習も行った。親子を対象とした企画もある。1回で約20名が参加。 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | 食品メーカー様とタイアップして開催するほか、子どもたちの身近な食品(お菓子・ケーキ)を通して「食の安全・安心」を学ぶなど、効果的に活動を展開。 |
| 事業名 ② | 「嶽きみ収穫体験」の開催 |
| 期 日 | 平成24年9月2日 |
| 場 所 | 弘前市の岩木山麓 |
| 活動内容・参加者等 | 弘前で有名な嶽きみの収穫時期に親子25組72名様をご招待し、実際に収穫し、食べて収穫の魅力を味わった(採れたての嶽きみを生で食し、甘さを実感)。 |
| 今後取り組みたい事項 | 嶽きみだけでなく、その時期にその場所でとれる新鮮なおいしさを味わう企画を継続して実施していきたい。 |
| 事業名 ③ | 「おいしい・ヘルシー簡単食育レシピパンフレット」の製作、配付 |
| 期 日 | 毎月発行 |
| 場 所 | ユニバース全店 |
| 活動内容・参加者等 | むつ市在住管理栄養士野呂浩子先生監修によるパンフレットレシピに、減塩調理・丈夫な体づくりのできるバランスのよいメニュー提案など啓蒙活動を掲載しています。 |

28 株式会社マエダ

| 活 動 内 容 | |
|---|---|
| 1 メーカーとタイアップし、料理教室を年2回程度実施 2 「食育まんが」のチラシ掲載 3 地産地消の強化(県産品フェアを2回、「むつ市もうまいは日本一」をそれぞれ2回実施) 4 「あおり食育検定」を受検し、地元の食材などによる「食の安全」をアピール | |
| 事業名 ① | メーカーとタイアップした料理教室の開催 |
| 期 日 | 平成24年1月、12月、7月、10月 |
| 場 所 | 青森市、むつ市 |
| 活動内容・参加者等 | 親子を対象に、チョコレートづくり、ケーキづくり、そば打ち体験などの講習会を開催し、料理をつくることの楽しさを体験してもらった。 |
| 事業名 ② | 「むつ市のうまいは日本一」(むつ市主催)の開催 |
| 期 日 | 平成24年9月、11月 |
| 場 所 | むつ市、青森市 |
| 活動内容・参加者等 | 「むつ市」の食材、及び食材で作った生鮮加工品やスイーツを試食販売し、地産地消を実施した。 |
| 事業名 ③ | 「〇〇」を喰らう(「山菜を喰らう」「きのこを喰らう」) |
| 期 日 | 平成24年5月、10月 |
| 場 所 | むつ市大畑町薬研 |
| 活動内容・参加者等 | 下北の恵み「山菜」や「きのこ」を自然の中で収穫し、施設で調理。食の楽しさを味わっていただいた。 |
| 備 考 (今後の取組) | 地元の食材を利用した料理提案を実施したい。 |

29 株式会社イトーヨーカ堂 青森店

| 活 動 内 容 | |
|---|--|
| 1 チラシに「イトーヨーカドーの食育」と題して、食育について関心を持ってもらえるような各種イベントを開催。 2 地元業者の出店による県産品フェアの開催や、青果、鮮魚、精肉売場の仕入れも県産品を中心に仕入れ、県産品の愛用や「地産地消」への取組を実施。 | |
| 事業名 ① | 野菜ソムリエの会 |
| 期 日 | 平成24年4月8日 |
| 場 所 | イトーヨーカ堂青森店 青果売場 |
| 活動内容・参加者等 | 野菜ソムリエの方がきて、お客様に野菜が苦手な方へのメニュー提案や保存方法などを教えていく教室を開催した。 |
| 事業名 ② | 地元業者の出展による県産品フェア |
| 期 日 | 平成24年9月5日～9日 |
| 場 所 | イトーヨーカ堂青森店 催事場 |
| 活動内容・参加者等 | 地元業者の方や生産者の方が集まり、地産地消の取組を実施した。 |
| 今後取り組みたい事項 | 農協・漁協との連携で、地産地消の普及啓発をしたい。 |

30 イオンリテール株式会社 イオン青森店

| 活 動 内 容 | |
|--|--|
| <p>昨年度に引き続き、事業を実施していく。</p> <p>1 イオンホームページで「Let's食育！」を掲載(URL http://www.aeonretail.jp/kodawari/shokuiku/)。</p> <p>2 下期「青森めじゃー市」を開催し、地産地消と食育の推進を実施。</p> <p>3 青森の県産品の「安全・安心」をチラシ訴求するとともに、試食販売を実施。</p> | |
| 事業名 ① | ファイブ・ア・デイ協会による園児向け食育プログラム「たべるおはなし教室」開催 |
| 期 日 | 平成24年10月12日 |
| 場 所 | イオン青森店 |
| 活動内容・参加者等 | <p>ファイブ・ア・デイ協会より専門の食育インストラクターを派遣していただき、青森山田保育園の園児13名に園児のための食育プログラムを実施しました。</p> <p>さまざまな食べものの特徴を学習したり、野菜・果物売場で実際にカレーの材料を買ってみました。</p> <p>好き嫌いせずに食べることが大切だと学びました。</p> |
| 事業名 ② | イオンチアーズクラブによる青森県のほたてと郷土料理についての学習 |
| 期 日 | 平成24年7月14日 |
| 場 所 | 青森県平内町ほたて広場 |
| 活動内容・参加者等 | <p>自分の住む青森県の特産品「ほたて」について学習しました。</p> <p>むつ湾産のほたてがどうしておいしいのか、ほたての育て方など館長さんにお話をさせていただきました。</p> <p>また、郷土料理の貝焼きみそと空き缶を使ってごはんをつくり、メンバーみんなで美味しく食べました。</p> <p>イオン青森チアーズクラブとイオン藤崎チアーズクラブの合同開催で、とてもおいしく楽しい1日でした。</p> |
| 今後取り組みたい事項 | <p>1 現代の若者向けメニューの提案。</p> <p>2 地域の小学生を対象に、イオン独自の食育プログラムを使用した食育勉強会を、実施する方向で計画。</p> |

31 紅屋商事株式会社

| | |
|------------------|--|
| 事業名 | 食育コミュニケーション活動 |
| 期日 | 毎月19日を含む週の土曜日(変動する場合あり) |
| 場所 | カブセンター、ベニーマート全店(青森新町店は除く) |
| 活動内容・参加者等 | <p>1 毎月19日を含む週を食育週間とし、その週の土曜日に大試食会を実施 (①11時～、②15時～) 参加者:食育コミュニケーターの資格を持った店舗従業員を中心とした、店舗従業員(日本食育コミュニケーション協会様御指導)</p> <p>2 毎月テーマを決め、そのテーマに沿った一汁三菜のメニュー提案により、豊かな「食」に対する啓蒙活動の実施</p> <p>3 食育活動における一汁三菜やレシピ提案を実施する際は、食事バランスガイドや食物アレルギー原因物質の提示を行い、それについての説明の実施</p> <p>4 使用する食材は、旬の食材・添加物不使用の調味料など、体にいいと思われるが知られていない商品を使用</p> <p>5 普段何気なく口に入っている食材の特徴、食べ方、保存方法、製造工程をお伝えする。</p> <p>6 「食」に関する「知育活動」の実施 店舗によっては、あおり食育サポーター様から食育グッズをレンタルし、それを使用しての知育活動の実施や、従業員手づくりの知育グッズによる知育活動の実施を行う。(例:野菜350gってどのくらい?、上手な水分補給のしかた、なぜ朝食は大事?、など)</p> <p>7 年1回(11月)の食育コミュニケーター発表大会での発表</p> <p>8 青森県産品愛用応援キャンペーンとのコラボレーション(9月) 全店で「地産地消」をテーマに、地産地消の利点をお知らせし、県産品の推奨を行う。 カブセンター大野店に三村知事をお迎えし、青森県産品のPRを実施(平成24年9月15日)。</p> <p>9 各店食育担当者対象の工場見学会の実施 太子食品工業様、上北農産加工様(7月)、坂本養鶏様(11月)の工場を見学させていただき、製造工程・こだわりの材料など学習 食育活動でその知識を広め、県産品の推奨活動を実施</p> <p>10 料理教室の実施 店舗休憩コーナーにて親子料理教室の実施 太子食品工業様御指導のもと、豆腐づくり体験教室、豆つかみで正しい箸の持ち方指導の実施</p> <p>11 校外学習でのお仕事見学ツアーの実施 地域の小学校の校外学習の一環で、職場見学・パンづくり体験の実施</p> |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | <p>1 お客様を招待してのメーカー様との料理教室開催</p> <p>2 農林水産省に依頼し、DVD「食料の未来を確かなものにするために」をいただき、売場での地産地消、食品ロスなどについての啓蒙に使用</p> <p>3 食事バランスガイドの冊子をダウンロードし、説明しながら配付</p> |

| | |
|------------|--|
| | <p>4 あおもり食育サポーターから食育グッズをレンタルし、店舗での食育教室の実施</p> <p>5 イベント時にはその歳時記を利用して、そのいわれをPOPで表示</p> <p>6 各種イベントのお客様参加企画の実施 節分のロング恵方巻き体験。ハロウィンの仮装コンテスト。サンタさんコンテスト。契約農家様との餅つき体験。</p> |
| 今後取り組みたい事項 | <p>◎各種団体との連携強化</p> <p>1 各地域の学校へ訪問しての食育教室の開催</p> <p>2 職場体験企画の進化 店舗周辺の学校と密着した職場体験ツアーの実施。同時に食育についての勉強会を開催し、地域との連携を深める。</p> <p>3 各市町村で食生活改善推進員とのコラボレーションを行い、地域の食を守る・地域の食を広げる食育活動の実践</p> <p>4 地域のサークル(子育てサークル、生け花サークルなど)への出張食育講座の実施(一部実施済)</p> <p>5 地元メーカー・生産者とコラボレーションした食育活動 地元メーカー様の料理教室、地元生産者様を巻き込んだメニュー提案(一部実施済)</p> <p>6 地元の大学との連携 栄養学部とのコラボ弁当の展開</p> <p>7 広報活動の強化 自社のみの広報活動のみならず、各種団体との連携を強化した取り組みを行うことで、TV・新聞・インターネット等への露出を高め、広く知っていただく。</p> |
| 備考 | <p>昨年は食育活動として本格始動した初年度だったので、自社内、特に店頭での食育コミュニケーション活動を軌道に乗せることに力を注いだ。</p> <p>今年度は他団体とのコラボレーション活動を強化し、その地域の特色を出せるような活動を実施し、県の食育計画に沿った食育活動を広げていきたい。</p> |

32 一般社団法人 青森県歯科医師会

| | |
|------------------|---|
| 事業名 | 第33回全国歯科保健大会内 歯ートフル・トーク in AOMORI ブース |
| 期日 | 平成24年10月27日(土) |
| 場所 | 青森市「リンクステーションホール青森(青森市文化会館)」 |
| 活動内容・参加者等 | 一般県民対象の「お口の健康」についてのイベント内で、歯によいレシピの紹介、試食を実施。 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | 今年度は第33回全国歯科保健大会が青森県で開催されたため、全国大会内でブースとして実施した。歯によいレシピコーナーは、青森県食生活改善推進員連絡協議会と連携を図った。 |
| 備考 | 平成25年度は青森県歯科医師会館で開催予定。 |

33 社団法人 青森県看護協会

| 活 動 内 容 | |
|--|---|
| <p>昨年度に引き続き、地域や社会全体での食育の推進及び生活習慣病予防に係る活動を実施。</p> <p>1 看護の日・看護週間事業「1日まちの保健室」における活動 5月12日を含む1週間に、6カ所の支部及び会員所属の病院が健康づくりを盛り込んだイベントを開催している。</p> <p>2 道の駅「ゆ〜さ浅虫」における常設「まちの保健室」での活動 4月～11月の毎週日曜日10:00～15:00に生活習慣病予防等の健康相談を実施している。</p> <p>3 県内6支部の管内市町村における「健康まつり」等をとおしての健康づくり活動</p> | |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | 看護協会会員が県内各地で、県民の健康づくりのための健康相談活動を展開している。 |

34 公益社団法人 青森県栄養士会

| | |
|-----------|--|
| 事業名 ① | あおもり栄養ケア・ステーション |
| 期 日 | 平成24年度 |
| 活動内容・参加者等 | 一般県民を対象に、無料栄養電話相談や食育相談を実施。 |
| 事業名 ② | あおもり栄養ケア・ステーション |
| 期 日 | 平成24年9月8日、11月30日、12月4日、12月15日、12月17日、他 |
| 場 所 | 青森市立合浦小学校、平川市立柏木小学校、地域包括支援センター、他 |
| 活動内容・参加者等 | 食に関する正しい知識の習得支援のため栄養士を派遣し、県産品を使った料理教室を開催。 |
| 事業名 ③ | 「命を大切に作る心を育む県民運動」への協力 |
| 期 日 | 平成24年度中 |
| 場 所 | 県内6地区で実施 |
| 活動内容・参加者等 | <p>○県民の栄養改善など、健康づくりに関する知識の啓発と普及</p> <p>○各自自治体及び関係団体の健康づくり事業に積極的に参加し、生活習慣病の一次予防や食育を通じて命の大切さを啓発し、各種活動を推進。</p> <p>○各自自治体の健康まつりに参加(青森地区、弘前地区、八戸地区、むつ地区、五所川原地区、上十三地区)</p> |
| 事業名 ④ | 健康啓発等事業 1 (みんなでスポーツ・アップリートフェスタ) |
| 期 日 | 平成24年9月22日 |
| 場 所 | マエダアリーナ(青森市) |
| 活動内容・参加者等 | 身近な材料で手軽に作れるクッキーの配付、食事バランスガイド模型の展示でバランス食の紹介、スポーツマンに対する栄養相談、「健康あおもり21」アンケート調査を実施 |
| 事業名 ⑤ | 健康啓発等事業 2 (みんなの消費生活展) |
| 期 日 | 平成24年11月3日 |
| 場 所 | むつ市役所本町全開放エリア特設会場 |
| 活動内容・参加者等 | 一般人に対し、食生活を見直し、生活習慣病予防のため、体脂肪、標準体重を示し、食事バランスガイドに沿った食事のとりかた、魚や野菜の摂取量を増やしてもらい、健康的な食生活を理解してもらった。 |

| | |
|-----------|--|
| 事業名 ⑥ | 健康啓発等事業 3 (健康教育講座2回) |
| 期 日 | 平成24年11月17日、11月18日 |
| 場 所 | 鶴田町鶴遊館 |
| 活動内容・参加者等 | 一般人に対し、食生活を見直し、生活習慣病予防のため、食育・食事バランスガイドの展示、簡単なクイズで食に対する興味や知識をもってもらふ。(参加者130名) |
| 事業名 ⑦ | 「健やか親子21」事業～児童福祉施設におけるクッキング講座 |
| 期 日 | 平成24年9月22日、11月3日 |
| 場 所 | 青森市、弘前市 |
| 活動内容・参加者等 | 食育計画に基づく保育所での管理栄養士・栄養士の専門性を活かした食育の実践例を紹介し、食育の均質化を図る。 |
| 事業名 ⑧ | 非常食を使ったアイデア料理教室 家庭教育学級 |
| 期 日 | 平成24年12月13日 |
| 場 所 | 青森県立青森若葉養護学校 |
| 活動内容・参加者等 | 防災に係る知識や理解度を深めるなど、子どもの防災意識のより一層の向上を図る。 |
| 事業名 ⑨ | あおもり栄養ケア・ステーション (アスリートプログラム) |
| 期 日 | 平成24年度 |
| 場 所 | マエダアリーナ(青森市) |
| 活動内容・参加者等 | スポーツ選手を対象に食事栄養診断と栄養相談 |

35 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

| 活 動 内 容 | |
|---|---|
| <p>1 会議や研修会を通じて、福祉専門職やボランティア、地域住民等に対して食事の楽しさや大切さ、栄養管理等についての情報提供を行うとともに、食育の啓発を実施。</p> <p>2 市町村社会福祉協議会で実施するサロン活動やお食事会、配食サービス等について、栄養管理、地産地消の観点からの情報提供、研修等を実施。</p> | |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | <p>既存の事業に、食育の視点を加えながら実施することにより、効果的に食育を促進。</p> <p>本会では、一人暮らし等の高齢者の安全を見守る福祉安心電話サービスを実施しており、こうした地域の繋がりを促進するために実施している配食サービスやお食事会などの食事を通じた交流の場を活用して、食事への意識付けを行っていきたいと考えている。</p> |
| 今後取り組みたい事項 | <p>1 食を通じた地域の繋がりを深めるためにこれまで実施してきた食事会やサロン活動における食の提供について、食生活改善推進員の皆さん等、地域で食育に取り組んでいる方々との連携を図りながら、地域の食材等を活用し、栄養管理に気を配った手づくりの食事の提供を取り入れていく必要がある。</p> <p>2 また、日々の食事に対しても、高齢者自らが栄養管理等の食育に対する意識を高める必要があることから、食事に対する知識を得る場を提供する必要がある。</p> |

36 社団法人 青森県保育連合会

| | |
|---------------------------------|---|
| 事業名 ① | 給食部会の開催 |
| 期 日 | 平成24年度:3回開催 |
| 場 所 | 青森市 県民福祉プラザ |
| 活動内容・参加者等 | 部会員 15名 各支部から選出された部会員で「給食部会」を設置。日常の給食業務等の課題について話し合う。 また、「保育所給食ガイドライン」の学習会を各支部、地域で開催し、説明と普及に努めた。 食育の学習会も、青森短期大学の今村准教授の指導の下行われた。 |
| 事業名 ② | 青森県保育研究大会の開催 |
| 期 日 | 平成24年6月12日 |
| 場 所 | 青森市 ホテル青森 |
| 活動内容・参加者等 | 参加者370名。 「子育て文化につながる食育への取組」分科会で、研究発表を行う。 |
| 事業名 ③ | 給食研修会の実施 |
| 期 日 | 平成24年10月2日 |
| 場 所 | 青森市 ホテル青森 |
| 活動内容・参加者等 | 参加者320名。 講演「今、求められる保育所給食を通じた栄養支援～現場、行政、専門の視点から～」 講演「保育園全体で取り組む食育のあり方を考える」 |
| 事業名 ④ | 「保育所給食ガイドライン」説明会の開催 |
| 期 日 | 平成24年2月～9月(25回 408人参加) |
| 場 所 | 各支部、地域 |
| 活動内容・参加者等 | 「保育所給食ガイドライン」による保育所給食を通じた子ども達への健康・栄養管理と「食育」推進のための研修会を各支部にて開催し、県立保健大学とタイアップし、アンケート調査も実施する。 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など) | 県健康福祉部担当者と県立保健大学吉池教授と当会給食部会長、副部会長を交えた意見交換会を開催することもでき、今後の連携を話し合う機会にもなった。 |
| 備 考 | 来年度以降も継続して活動を実施し、関係機関との協力の下に子ども達、保護者への「食育」の推進を図っていききたい。 |

37 国立大学法人 弘前大学 農学生命科学部

| | |
|-----------|---|
| 事業名 | 関連する専門教育科目全般 |
| 活動内容・参加者等 | 専門教育科目において、食育に関する意識を持てるよう、講義を行っている。 (例:農学生命科学部概論Ⅰ・Ⅱ、作物生理学、食品安全学、他) |

38 学校法人 青森田中学園 青森中央短期大学

1 公開講座での食育実践

| | |
|------------------|--|
| 事業名 ① | パスタマシーンを使って手打ちうどんを作ろう！ |
| 期 日 | 平成24年10月13日 |
| 場 所 | 本学 調理実習室 |
| 活動内容・参加者等 | 園児・児童を対象に、食品加工講座として、パスタマシーンを使用したうどん作りを実施。 |
| 事業名 ② | クリスマス親子クッキング |
| 期 日 | 平成24年12月8日 |
| 場 所 | 本学 調理実習室 |
| 活動内容・参加者等 | 園児・児童とその保護者を対象に、クリスマスをテーマとした親子で楽しめる内容の調理実習を実施。 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | それぞれ異なったテーマのもと、対象者が無理なく楽しめ、そして学ぶことができる内容としている。 |
| 備 考 | 来年度以降も継続して活動を実施していきたい。 |

2 教員が出勤前講座など依頼された研修会で食育の普及活動を実施

| | |
|------------------|--|
| 事業名 ① | 食と環境「あなたの食生活が地球を変える」 |
| 期 日 | 平成24年4月21日 |
| 場 所 | 大湊高等学校 |
| 活動内容・参加者等 | 何を食べ、どのくらい廃棄するかで地球環境が良くもなり、悪くもなることを参加者とともに考えた。 |
| 事業名 ② | 食生活の自立のために |
| 期 日 | 平成24年11月6日 |
| 場 所 | 薄市保育所 |
| 活動内容・参加者等 | 自立した食生活を送るためにはどのようにしたらよいのか、参加者とともに考えた。 |
| 事業名 ③ | 食生活の自立のために |
| 期 日 | 平成24年11月17日 |
| 場 所 | むつ市役所 |
| 活動内容・参加者等 | 自立した食生活を送るためにはどのようにしたらよいのか、参加者とともに考えた。 |
| 取組の具体的な手法や特徴的なこと | それぞれ異なったテーマのもと、対象者が無理なく楽しめ、そして学ぶことができる内容としている。 |
| 備 考 | 来年度以降も継続して活動を実施していきたい。 |

3 平成24年度 青森県ライフステージに応じた食育活動推進業務（県委託業務）

| | | | |
|-------|-----------------------|------|----------------|
| 事業名 ① | あおもり食育サポーター事務局による食育活動 | | |
| 申込先別 | 幼稚園・保育園 | 89件 | |
| 依頼件数 | 小・中学校 | 36件 | |
| | その他 | 64件 | |
| | 合計 | 189件 | (H25. 1. 29現在) |

| | |
|------------|--|
| 活動内容 | あおもり食育コンシェルジュ2名が、未就学児から一般の方を対象に県内全域で食育活動を行った。 |
| 事業名 ② | 平成24年度あおもり食育サポーター地区別研修会 |
| 日時・場所 | 東青地区 平成24年2月17日(日)13:30~15:00 県民福祉プラザ 中南地区 平成24年3月3日(日)10:00~11:30 弘前市総合学習センター 三八地区 平成24年3月3日(日)10:00~11:30 八戸市総合卸センター 西北地区 平成24年2月24日(日)14:00~15:30 五所川原市民情報学習センター 上北地区 平成24年2月17日(日)10:00~11:30 三沢市国際交流教育センター 下北地区 平成24年2月24日(日) 14:00~15:30 下北文化会館 |
| 参加者・内容(予定) | 参加者:あおもり食育サポーターや活動申込み団体 内容:あおもり食育サポーター事務局の活動について、各地区の食育活動紹介、講師による講話 |

4. その他

| | |
|-----------|--|
| 事業名 ① | 翔麗祭 |
| 期 日 | 平成24年9月15~16日 |
| 場 所 | 青森中央短期大学 1号館1階 食育サポーター事務局内 |
| 活動内容・参加者等 | 本学学園祭において、食育教材の展示、食育カルタ、食育クイズなどを実施した。 |
| 事業名 ② | 産学官共同による「学生による地産地消弁当の考案」 |
| 期 日 | 平成24年6月~9月 |
| 場 所 | 青森県内 |
| 活動内容・参加者等 | 学生が青森県産品を使った地産地消弁当を考案し、企業が販売を行った。 |
| 事業名 ③ | しっとりもちり東青の米粉スイーツ創出事業 |
| 期 日 | 平成24年6月~平成25年3月 |
| 場 所 | 東青地区 |
| 活動内容・参加者等 | 学生による、青森県産の米粉と東青の農産物を使ったスイーツの開発を行った。 |
| 事業名 ④ | 野菜屋さんのワクワク健康と食の新発見！！ |
| 期 日 | 平成24年11月23日 |
| 場 所 | 青森市中央卸売市場 |
| 活動内容・参加者等 | 学生がアピオス、ヤーコン、菊芋のメニュー開発を行い、イベントにて、レシピの配付及び試食を行った。 |

39 株式会社 東奥日報社

| 活動内容 |
|--|
| 東奥日報社としては、事業として食育に取り組んでいないが、食に関する記事（例えば「ろばた談義」など）を積極的に掲載したり、食育に関する記事を努めて取材・掲載している。 |

40 農林水産省東北農政局青森地域センター

| 活動内容（事業名、事業内容、参加者等記入） | |
|--|---|
| 平成24年度の取り組みについては、食育推進計画未策定市町村に対する支援等を継続して実施。また、関係機関、団体等が開催する食育関連イベント等に積極的に参加し、消費者等に対して情報発信。 特に、「食事バランスガイド」「日本食文化を無形文化遺産に」を中心に普及・啓発及び情報提供。 | |
| 事業名 ① | 食育推進計画未策定市町村に対する支援等 |
| 期 日 | 平成24年度 |
| 対 象 | 食育推進計画未策定市町村 |
| 活動内容・参加者等 | 食育推進計画未策定市町村を対象に進捗状況の把握、計画策定に関する支援等を実施。 |
| 事業名 ② | 食育月間における取り組み（食事バランスガイドの普及・啓発） |
| 期 日 | 平成24年6月中 |
| 場 所 | — |
| 活動内容・参加者等 | 青森県・管内地域県民局・管内市町村及び36消費者団体等に対して「食育月間ポスター（またはチラシ）」「食育復興支援フェスティバル横浜チラシ」を配付。（36消費者団体には「マジごはん計画」も配付。） |
| 期 日 | 平成24年6月中 |
| 場 所 | — |
| 活動内容・参加者等 | 管内178小学校に、「日本食文化理解促進のための学習ツール」及び「日本食文化を世界遺産に」チラシを配付。 |
| 期 日 | 平成24年6月12日（火） |
| 場 所 | 大野市民センター |
| 活動内容・参加者等 | 青森市民センター講座開設時、「食事バランスガイド」関連パネル展示及びパンフレット等を配付のうえ普及・啓発。 市民講座受講生。 |
| 期 日 | 平成24年6月14日（木） |
| 場 所 | イトーヨーカ堂 青森店 |
| 活動内容・参加者等 | 「食事バランスガイド」「日本食文化を無形文化遺産に」関連パネル展示及びパンフレット等を配付のうえ普及・啓発。 来店者。 |
| 期 日 | 平成24年6月15日（金） |
| 場 所 | イトーヨーカ堂 弘前店 |
| 活動内容・参加者等 | 「食事バランスガイド」「日本食文化を無形文化遺産に」関連パネル展示及びパンフレット等を配付のうえ普及・啓発。 来店者。 |
| 事業名 ③ | 食育関連イベント等への参加 |
| 期 日 | 平成24年9月22日（土） |
| 場 所 | 新青森県総合運動公園内 マエダアリーナ |

| | |
|-----------|--|
| 活動内容・参加者等 | スポーツ・アップリートフェスタ(主催 県教育委員会)への参加 「食事バランスガイド」「日本食文化を無形文化遺産に」関連パネル展示及びパンフレット等を配付のうえ普及・啓発。 来場者。 |
| 期 日 | 平成24年10月23日(火) |
| 場 所 | リンクステーションホール青森 |
| 活動内容・参加者等 | 第7回 たべる・たいせつ食育フォーラム(主催 青森県生協連)への参加。 フォーラムに後援するとともに、ブース出展を行い「食事バランスガイド」「日本食文化を無形文化遺産に」関連パネル展示及びパンフレット等を配付のうえ普及・啓発。 来場者。 |
| 期 日 | 平成24年11月6日(火) |
| 場 所 | 県民福祉プラザ |
| 活動内容・参加者等 | 第48回 青森県消費者大会(主催 青森県消費者協会)への参加 「食事バランスガイド」「日本食文化を無形文化遺産に」関連パネル展示及びパンフレット等を配付のうえ普及・啓発。 また、パソコンを活用しての食事バランスガイドの体験等を実施。 来場者。 |
| 事業名 ④ | 各種講座への講師派遣 |
| 期 日 | 平成24年7月12日(木) |
| 場 所 | 弘前市立第三大成小学校 |
| 活動内容・参加者等 | 『食育講座』において、「食事バランスガイド」「世界のお米」等について情報提供。 5年生ほか62名。 |
| 期 日 | 平成24年8月23日(水) |
| 場 所 | アウガ 5階 |
| 活動内容・参加者等 | 「食生活指針と食事バランスガイド」及び「日本食文化を無形文化遺産に」等を情報提供。 青森市消費者の会会員ほか29名。 |
| 期 日 | 平成24年10月17日(水) |
| 場 所 | 青森県立青森第二養護学校 |
| 活動内容・参加者等 | 『みんなで脱穀体験』において、学校田で収穫した稲で脱穀体験学習を行い、「食事バランスガイド」及び「日本食文化を無形文化遺産に」を情報提供。 中学部ほか13名。 |

41 農林水産省東北農政局八戸地域センター

| 活動内容（事業名、事業内容、参加者等記入） | |
|-----------------------|---|
| 事業名 ① | 管内市町村食育推進協議会への参画等 |
| 活動内容・参加者等 | 八戸市食育推進協議会に委員として参画し、第2次食育推進計画策定に関与。 南部町食育推進協議会にアドバイザーとして参画し、平成24年度食育関連施策の取組内容等の把握。 また、第2次食育推進計画未策定市町村を対象に、進捗状況の把握、計画策定に係る支援等を実施。 |
| 事業名 ② | 食育月間における取組（「食事バランスガイド」等の普及・啓発） |
| 期 日 | 平成24年6月22日 |
| 場 所 | 協同組合 八食センター |
| 活動内容・参加者等 | 食事バランスガイドを中心とした食育関連パネルの展示、パンフレット配布、食に関するアンケート実施等を通して、一般消費者へ食事バランスガイド等の普及及び啓発を実施。 |
| 事業名 ③ | 食育月間における取組（食育月間の周知、「マジごはん計画」の普及・啓発等） |
| 期 日 | 6月中 |
| 活動内容・参加者等 | 管内市町村等関係機関等に対し、食育月間ポスターを配布。 また、若年層に対する「食」の普及・啓発を目的としたパンフレット「マジごはん計画」、「VOGUE girl」を大学、専門学校等を中心に配布。 |
| 事業名 ④ | 「食育ガイド」及び「日本食文化～子ども向け学習ツール」の普及・啓発 |
| 期 日 | 平成24年7月～10月 |
| 活動内容・参加者等 | 管内市町村の食育推進協議会開催時、管内の「食」に関するイベント開催時、「食育ガイド」（24年内閣府作成）を配布。 また、「食育ガイド」（内閣府作成）及び「日本食文化～子ども向け学習ツール」（農林水産省作成）について、管内市町村食育担当者等に対し、メールにより情報提供。 |
| 事業名 ⑤ | 食育関連イベントにおける食事バランスガイド等の普及・啓発 |
| 期 日 | 平成24年12月14日 |
| 場 所 | 八戸市立白山台公民館 |
| 活動内容・参加者等 | 青森県三八地域県民局地域農林水産部及び三戸食農推進協議会主催の「三八地域食育推進フォーラム」において、参加者に対し、食事バランスガイドを中心とした食育関連パネルの展示、パンフレット配布等を通して、食事バランスガイド等の普及・啓発を実施。 |

42 青森県中央企業団体中央会

| 活動内容 |
|--|
| <p>あおり「食」産業型組合応援プロジェクトとして、地域資源を活用した食産業型の連携組織や企業による展示即売会を開催し、青森県の地域資源と商品化の事例紹介及び情報発信を通じ、一般消費者に対する地産地消への理解を深めている。</p> <p>また、既存の食産業型組合に対し、地域資源を活用したブランド力の強化と、新商品開発等の支援を行っている。</p> |

43 青森県農業会議

| 活動内容 |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 市町村農業委員会への情報提供活動の実施。 2 全国農業会議所等との連携。 |